

1, 単元名 世界各地の伝統的な生活

2, 単元について

(1) 単元観

当該学年は中学1年であり、世界各地の地理的分野の学習は実質的に初めてである。この前単元「第1編 世界と日本の姿」において、地球儀や世界地図・日本地図を活用しながら、大陸と海洋・6州の分布、世界の国々、緯度と経度、日本の位置と領域、時差、日本の都道府県などを学ぶ。さらに本単元は、大単元「第2編 世界のさまざまな地域」の「第1章世界各地の人々の生活」に位置し、世界各地における人々の生活の様子とその変容について自然環境、生活と文化など世界各地の特色や多様性を取り上げている。人間の生活は、地形や気候などの「自然条件」と民族や文化、宗教などの「社会条件」との上に成り立っている。このことは、世界各地においても日本においても同様であり、多様な生活様式や文化に大きな影響をあたえている。またこのことは今後学習する各種産業の立地においても、「自然条件」「社会条件」によっており、このことを関連づけて学習することは、地理学習の基本となっている。つまり、第1編及び第2編の本単元を通して、いわば地理的分野の導入であるとともに 基礎を学ぶ場となっている。

本中単元「世界各地の人々の生活と環境」においては、世界の気候など、自然環境の特色を取り上げている。世界各地には、様々な自然環境の違いがあることを取り上げる。自然環境の特色は、人々の生活や各種産業と密接にかかわるため概略だけでなく、独特の気候や地形についてはこまかい特色についても触れていきたい。また、この単元においては、地図やグラフ（特に雨温図）を読み取らせたり、写真資料から地域の様子を想像させるなどの機会を多く設定し、資料活用の力を生徒にしっかりと身に付けさせたい。これらは、社会科学習において基礎的・基本的な技能であり、この蓄積を土台とした上に生徒の思考や判断・表現など応用力の習得につながるものと考えからである。

また、本単元においては、世界各地の人々の生活と文化について取り上げる。衣食住を中心とした人々の伝統的な生活は、各地の自然条件に基づいて成り立っている。このことを学ぶことによって、自分たちの生活や文化だけではない、多様な生活や文化の存在とその成立の必然性を理解させることで、生徒の関心を高め、今後の地理学習に主体的に取り組む態度を喚起したい。また、各地の伝統的な生活や文化は自然条件だけで決定されるものではない。民族や宗教など長い歴史的な背景を基にしている場合も多い。これら社会的な条件についても取り上げることで、日本社会において薄れつつある伝統的な生活や文化が、世界においては今も生きてることに気付かせ、文化の多

様性の面白さと、それへの相互理解と相互尊重の大切さに気づかせ、自国の文化への理解と愛着へとつなげるきっかけとしたい。

(3) 本校研究主題とのかかわり

本校生徒の実態を受けて、本校の研究主題を「主体的で深い学びを目指した指導方法の工夫」～思考力を高める教師の言葉かけの工夫～と設定した。これに関して、本授業では以下の点について考慮し、教師の言葉かけを意識しながら展開していきたい。

- ① 主体的に学習に取り組む態度の喚起（写真資料、実物資料の活用）
- ② 基礎的・基本的事項の定着（地図の活用、雨温図の読み取り、地形・気候に関する知識）
- ③ 既習事項との比較、発展（気候条件との関連付け）

3. 単元の目標

【知識・理解・技能】

- ・世界各地の気候の特色を、適切にとらえている。
- ・世界の主な宗教や日本の宗教・年中行事について、適切にとらえている。
- ・世界の気候の特色について、地図やグラフ（雨温図）、写真などを活用しながら、適切にとらえる。
- ・世界各地の人々の生活・文化の特色について、様々な統計資料や地図、写真などから適切に読み取る。

【思考・判断・表現】

- ・日本の地形や気候の特色について、世界的な視野から、その類似点や相違点を考察し、説明する。
- ・世界の人々の生活・文化について、自然環境及び社会環境と関連付けて考察し、説明する。

【主体的に学習に取り組む態度】

- ・世界の自然環境に対する関心を高め、各地の地形や気候の特色を進んで追求しようとする。
- ・世界各地の人々の生活・文化について、進んで調べようとする。また、日本人の生活・文化について、世界と比較する中でその特色をつかもうとする。

4. 指導計画（9時間扱い）

第2編 世界のさまざまな地域

1章 世界各地の人々の生活と環境

- (1) 雪と氷の中で暮らす人々・・・1時間
- (2) 寒暖の激しい土地に暮らす人々・1時間
- (3) 温暖な土地に暮らす人々・・・1時間

- (4) 乾燥した土地に暮らす人々・・・1時間
- (5) 常夏の島で暮らす人々・・・・・・1時間
- (6) 標高の高い土地に暮らす人々・・・1時間
- (7) 世界に見られるさまざまな気候・1時間
- (8) 世界各地の伝統的な生活・・・・・・1時間（本時）
- (9) 人々の生活に根付く宗教・・・・・・1時間

5、本時の指導

（1）本時のねらい

- ① 実物資料の活用により、生徒の関心・意欲を高め、課題を追求する姿勢を高める。
- ② 様々な資料や既習事項を基に、人間の生活と自然環境との関連に気付かせる。

（2）本時の目標

- ① 授業に集中し、意欲的に調べたり発言する。 【主体的に学習に取り組む態度】
- ② 実物資料や写真資料と、地図や雨温図を見ながら、その背景となっている自然環境（乾燥帯の気候）と関連付けて衣服の特性を説明する。 【思考・判断・表現】

（3）本時の展開

過程	時配	学習内容と活動	教師の支援	評価など
導入	5	○本単元の学習計画を見て、学習のめあてをつかむ。	・世界の気候の授業を思い起こさせる。	生徒向け評価規準
展開				
	10	世界各地の伝統的な衣服は、 どのような特徴があるのだろう エジプトの民族衣装の写真や実物を見て、気付いたことや感想を発表する。 ・暑そう、涼しそう、長い、着づらい	・実物に触れる（着る）ことで、興味・関心を高めるとともに、自由な発想を大切にする。	進んで写真や実物資料にかかわろうとしている。 【主体的な態度】
	30	○エジプトの人々が、なぜそのような衣服を着るのか、理由	・エジプトの位置を地図で確認させる。	地図や雨温図などの資料から、

		(長所)を考え、発表する。 ・強い日差し、暑さ、砂、乾燥への対策など ○女性のスカーフやベールの写真、実物を見て、自然条件以外の理由についても考える。	・エジプトの雨温図を見て、気候の特色を思い起こさせ、その影響を強く受けていることを理解させる。 ・女性の服装には、宗教上の理由もあることを説明し、人々の生活への影響として自然条件とともに社会条件もあることを説明する。	衣服と自然環境を関連付けて考えている。自分の考えを、進んで説明する。 【思考・判断・表現】
まとめ	5	○他の地域の衣服や、世界各地の住居や食事ではどのような特徴があるのか考える。 ○エジプト人の現代的な服装の写真を見て、伝統的な衣服との相違点を見つける。	・世界各地の人々の生活について、その背景があることに気付かせる。 ・社会の変化と世界的な均一化について気付かせる。	進んで写真資料にかかわろうとしている。 【主体的な態度】

(4) 本時の評価

- ① 授業に集中し、意欲的に調べたり発言したか。 【主体的に関心・意欲・態度】
- ② 実物資料や写真資料と、地図や雨温図を見ながら、その背景となっている自然環境（乾燥帯の気候）と関連付けて衣服の特性を考え、説明したか。 【思考・判断・表現】